

第 15 回 新得町地域公共交通活性化協議会議案

と き 平成 28 年 1 月 18 日 (月) 10 : 00 ~

ところ 新得町役場 3 階 大会議室

会議次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

報告第 1 号 経過報告 2

報告第 2 号 平成 27 年 6 月 ~ 平成 27 年 12 月のコミュニ
ティバス利用状況 2

4 議 題

議案第 1 号 地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価に
ついて 3

5 その他

6 閉 会

新得町地域公共交通活性化協議会 委員名簿

	分野	所属団体名等	役職	氏名	備考
1	計画策定	新得町	副町長	田 中 透 嗣	
2	道路管理者	帯広開発建設部道路計画課	課長	鈴 木 善 人	
3		十勝総合振興局帯広建設管理部鹿追出張所	所長	小 寺 一 徳	
4	公共交通事業者	北海道拓殖バス株式会社	営業課長	小 森 明 仁	
5		新得ハイヤー有限公司	社長	石 畑 政 俊	
6		株式会社新交通	代表取締役	深 川 信 雄	
7		北海道旅客鉄道株式会社新得駅	駅長	菅 原 俊 明	
8		北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	副議長	高 橋 敏 朗	
9	利用者代表	新得町商工会	会長	湯 浅 悟 史	
10		屈足商工振興協議会	会長	竹 浦 隆	
11		新得町観光協会	会長	清 水 輝 男	
12		新得町PTA連合会	会長	大 山 康 幸	
13		社会福祉法人 新得町社会福祉協議会	会長	赤 木 英 俊	
14		新得町女性団体連絡協議会	会長	中 井 由 利 子	
15		新得市街地区連合町内会	会長	青 柳 茂 行	
16		屈足連合町内会	理事	片 桐 浅 夫	
17		すこやかクラブ	会長	北 敏 夫	
18		報徳クラブ	会長	菅 野 益 二 郎	
19		株式会社福原 新得店	店長	原 田 康 司	
20		株式会社福原 屈足店	店長	大 泉 和 繁	
21		新得クリニック	事務課長	福 木 琢 也	
22		新得診療所	院長	佐 藤 夏 子	
23		サホロクリニック	事務長	若 林 尚	
24	運輸局	北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸企画専門官	頼 本 英 一	
25	警察	新得警察署	交通課長	伊 達 辰 幸	
26	北海道	十勝総合振興局地域政策部地域政策課	課長	山 田 恭 一	
	事務局長	新得町地域戦略室	室長	佐 藤 博 行	
	事務局員	新得町地域戦略室地域戦略係	係長	東 川 恭 一	
			主任	大 橋 祐 貴	
			主事	飯 田 美 穂	

報告第1号

経過報告（第14回協議会以降）

平成27年度

9月 5日 花火大会にてコミュニティバスPR

報告第2号

平成27年6月～平成27年12月のコミュニティバス利用状況

1. 1日あたりの乗車数

(1) 総計（新得市街地+屈足地区） <別紙1>

平成27年6月から平成27年12月にかけて、前年度と月ごとに比較すると全ての月において利用者が増加した。目標としている乗車数を維持し続けている。

(2) 新得市街地 <別紙2>

利用状況から推測すると、西地区から東地区へ、日常の食料や日用品の買い物目的に利用する方が多く、午前中の2便を行きに、3便を帰りに利用する方が多い。12月は2便・3便の利用者が特に多かったことにより、乗車数が伸びている。

(3) 屈足地区 <別紙3>

乗車希望があった「なごみ前」及び「屈足坂前」の2ヶ所に今年7月、新たに停留所を追加したことや、教育委員会で実施している、町営温水プールに通う児童に対しての無料乗車券の配布等により、乗車数が伸びている。

2. 利用の多いバス停

新得駅、フクハラ新得店、相馬商店、サホロクリニック、サホロクリニック、つつじヶ丘公園、若草会館前、若草、西和北、新得クリニック、エーコープ前、なごみ前、温水プール、公民館前、新得郵便局、かえで西、かえで中央、柏町1丁目、幸町4丁目、屈足常盤、永福寺前、屈足南小学校裏門前、屈足22号、屈足総合会館前、第2新進、新友2など

3. 屈足早朝便の利用状況

屈足から帯広方面の高校へ通う学生及び、帯広方面への通院目的等により、最大で9名が利用している。

議案第1号

議案第1号 地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について										別紙1-2	
事業実施と生活交通ネットワーク計画との関連について											
										平成28年1月18日	
協議会名:		新得町地域公共交通活性化協議会									
評価対象事業名:		地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金									
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)		<p>新得町は、北海道の重心に位置しており、面積1063.83km²、人口は平成27年12月末現在で6,336人の町である。</p> <p>本町の幹線の交通については、一定の公共サービスが充足しているものと考えられていたが、幹線へつなげるフィーダー交通がないため、住宅地と幹線交通の駅や停留所に距離があり、公共交通が利用しにくい状況となっていた。</p> <p>現在、コミュニティバス「そばくる」の運行が開始され、有料にも関わらず、多くの方に利用いただいております。住民の移動手段としての公共交通の必要性が十分に確認されているところである。</p> <p>住民が将来にわたって住み続けたいと思われる町を実現するため、また、今後のさらなる高齢化に向けた対策として、コミュニティバスの確保維持が不可欠となっている。</p>									

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成28年1月18日

協議会名: 新得町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
北海道拓殖バス株式会社	新得市街地線(西地区・東地区)を1日5便、屈足地区線を1日3便運行。	乗車人数については、利用の実態を踏まえた目標値とすることによって、目標を達成することができた。また、町民の意見を反映した路線の再検討を行った結果、停留所を2カ所追加することになり、利用者の利便性向上が図られた。	A 事業計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標乗車人数19.6人/便(4月～11月)に対し26.9人、25.7人/便(12月～3月)に対し28.5人であった。	バスの周知・PRの継続や、町民の意見を反映した路線の再検討などによって、より身近なフィーダー交通として維持していく。

新得町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

北海道拓殖バス(株)が新得市街地線(西地区・東地区)を1日5便、屈足地区線を1日3便運行している。
今後、住民が将来にわたって住み続けたいと思われる町を実現するため、また、今後のさらなる高齢化に向けた対策として、地域に根付いたコミュニティバスを目指す。

地域公共交通の現況

- ・JR石勝線(新得駅)
- ・JR根室本線(新得駅)
- ・北海道拓殖バス(株)(町内1路線)
- ・スクールバス(5路線)

生活交通確保維持改善計画の目標

(1)目標
4月～11月(積雪のない期間)・新得市街地→12.2人/日・屈足地区→7.4人/日
12月～3月(積雪のある期間)・新得市街地→17.6人/日・屈足地区→6.1人/日
〔2〕効果
自家用車を持たない、または利用できない高齢者等の交通弱者の通院や買物等を目的とする生活交通が確保され、外出機会が増える。
幹線交通とフィーダー交通の連携を強化することにより、公共交通の利用拡大を図り、安全で安心して暮らせる交通環境を確保する。

協議会開催状況

- 平成27年5月13日 書面合議
・屈足地区線における停留所の通知について
- 平成27年6月29日 協議会を開催
・地域内フィーダー系統確保維持計画について
- 平成27年9月3日 書面合議
・新得町コミュニティバス運行(協議運行)変更について
- 平成28年1月18日 協議会を開催
・地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について

平成27年度事業概要

新得市街地線(西地区・東地区)を1日5便、屈足地区線を1日3便運行。

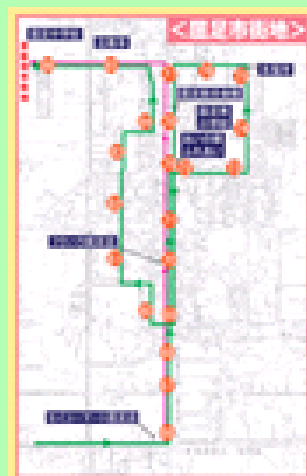
平成27年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・町内イベント(あったかうまいもんフェア・花火大会)での運行PR
- ・スポーツ少年団支援として、スポーツ少年団員に対して無料乗車券の配布を実施(新得市街～屈足市街間)
- ・屈足方面から町営温水プールを利用するために移動が必要な児童に対して無料乗車券の配布を実施(新得市街～屈足市街間)
- ・ポケット時刻表の作成及び、配布

2) 運行系統

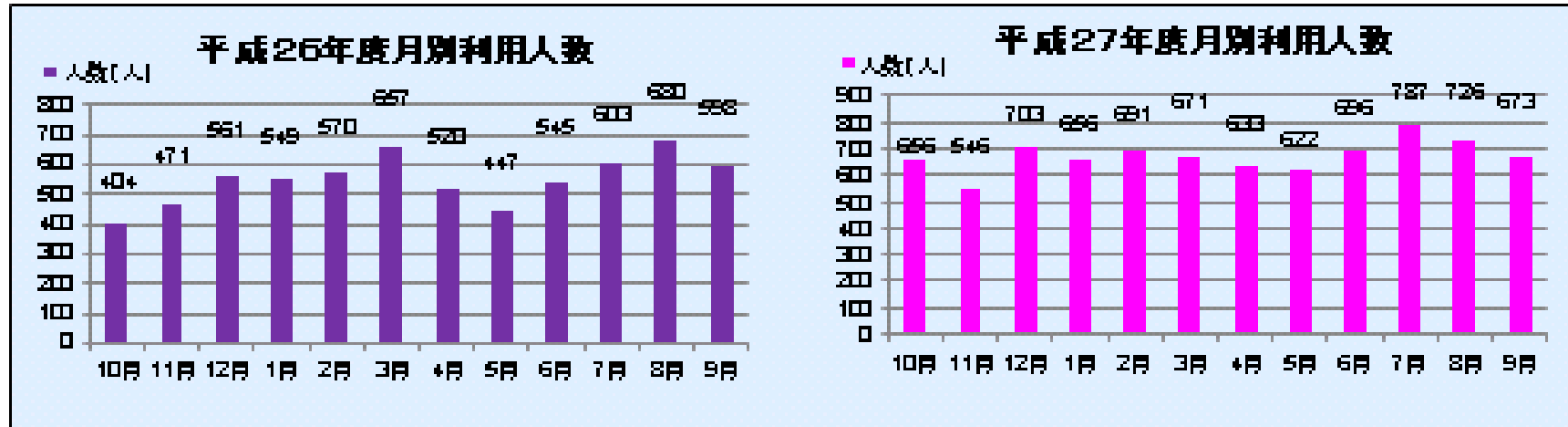
屈足地区線



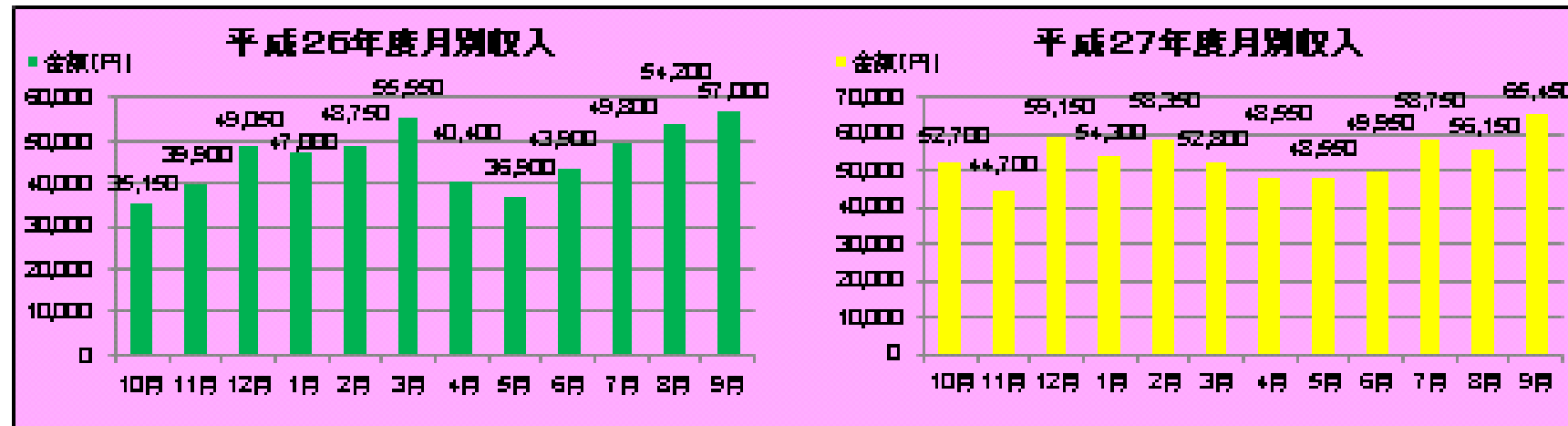
新得市街地線



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

事業計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

6) 目標-効果達成状況

目標乗車人数1日、6人/便(4月～11月)に対し26.8人、25.7人/便(12月～3月)に対し2日、5人であった。

○詳細

4月～11月(積雪のない期間)

新得市街地→12.2人/日に対して、14.2人/日

屈足地区→7.4人/日に対して、12.7人/日

12月～3月(積雪のある期間)

新得市街地→17.6人/日に対して、17.0人/日

屈足地区→8.1人/日に対して、11.5人/日

7) 事業の今後の改善点

バスの周知・PRの継続や、町民の意見を反映した路線の再検討などによって、より身近なフィーダー交通として維持していく

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(本)

運輸局記載欄